

福島第一原子力発電所 2号機原子炉建屋排気設備における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約 : 1/28)

採取場所	* 2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ入口) 1回目		* 2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ入口) 2回目		* 2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ入口) 3回目		* 2号機原子炉建屋排気設備 (排気フィルタ入口) 4回目		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
試料採取日時刻	2016年1月7日 8時12分～10時12分		2016年1月7日 10時14分～12時14分		2016年1月7日 12時16分～14時17分		2016年1月7日 14時20分～15時47分		
検出核種 (半減期)									
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.4E-04	0.12	1.3E-04	0.07	4.4E-05	0.02	1.6E-05	0.01	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.0E-03	0.33	5.4E-04	0.18	1.9E-04	0.06	7.0E-05	0.02	3E-03

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約3E-7Bq/cm³、Cs-134が約4E-7Bq/cm³、Cs-137が約7E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

* 2号機原子炉建屋内作業に伴う状況確認。